

## 維持保全計画書について

新潟地域型住宅協議会(ネイティブハウス)  
維持保全計画書(30年間)

点検部位		主な点検項目		点検の時期 (竣工より)	定期的な 手入れ等	更新・取替 の 時期、内容
構造 躯体	基礎	コンクリート 基礎立ち上 がり	ひび割れ、欠損、沈下、 換気口のふさがり、錆び、蟻道 等	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★	—	建替え時に 更新
	土台	土台	基礎からのずれ・浮き、 断面欠損、腐朽・蟻害	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★	5年で防腐・ 防蟻処理	建替え時に 更新
	床組	大引き、床 束、根太	傾斜、たわみ、床鳴り、振動、腐朽・蟻 害 等	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★	5年で防腐・ 防蟻処理	20年で全面 取替を検討
	軸組	柱、間柱、筋 かい、胴差	傾斜、断面欠損、腐朽・蟻害 等	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★		建替え時に 更新
	小屋 組	たる木、母屋 棟木、小屋 束	雨漏り等の跡、小屋組の接合部のわれ	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★		建替え時に 更新
屋根 ・ 外壁 ・ 開口 部 等	屋根	瓦ふき	ずれ、はがれ、浮き、われ、雨漏り、変 形 等	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★		20年で全面 葺替を検討
	外壁	サイディング 壁(窯業系)	割れ、欠損、剥がれ、シーリング材の破 断 等	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★	3年でトップ コート吹替え	15年で全面 補修を検討
	雨樋	雨樋	破損、詰まり、はずれ、ひび、軒樋の垂 れ下り	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★		7年で全面 取替を検討
	軒裏	軒裏天井	腐朽、雨漏り、はがれ、たわみ、ひび割 れ	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★		15年で全面 取替を検討
	開口 部	屋外に面す る開口部	建具周囲の隙間、建具の開閉不良 等	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★		15年で全面 取替を検討
設 備	配管 設備	給水管	漏水、赤水、給水流量の開閉不良 等	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★	水漏れは直 ちに補修	15年で全面 取替を検討
		排水管	漏水、排水の滞留	6ヶ月、1、2、5、10、15 20、25、30年★	水漏れは直 ちに補修	15年で全面 取替を検討

## 留意事項等：

- ★は地震や台風時の後、当該点検の時期にかかわらず臨時点検を行うものとする。
- 各点検において、劣化の状況に応じて適時維持保全の方法について見直すものとする。
- 点検結果は必ず、写真データと報告書で残すものとする。
- 長期優良住宅建築等計画に変更があった場合、必要に応じて維持保全の方法の変更を行うものとする。

別紙6

定期点検報告書について

定期点検報告書

御中

点検実施日	年	月	日	点検内容：		
				様邸	電話番号	担当検査員
						㊟

定期点検の結果は下記の通りとなっております。

該当欄	点検結果	
	補修の必要はありません。	お客様確認サイン ㊟
	元請業社とのお打ち合わせをお願いします。	お客様確認サイン ㊟
	補修が完了しました。補修完了日	年 月 日 お客様確認サイン ㊟

チェックリスト

チェック箇所	項目	内容	チェック	チェック箇所	項目	内容	チェック
基礎	玄関・ポーチ	1. 玄関・ポーチ等に大きなひび割れはないか (コンクリートの収縮による小さなひびはのぞく)		屋根	屋根材	13. 瓦は破損していないか (落下物によるものは除く)	
	基礎の状況	2. 基礎に大きなひび割れはないか (コンクリートの収縮による構造上問題のない小さなひびは除く)			塗装	14. 著しい変色・脱色・割れはないか	
	地盤の状況	3. 沈下はないか		外壁	外壁材	15. 外壁材の破損はないか (落下物によるものは除く)	
	換気口	4. ふさがり、錆びはないか			雨樋	雨樋の状況	16. 樋から雨水がきちんと流れているか
	蟻道	5. 蟻道はないか		軒裏	軒裏天井	17. 腐朽、雨漏り、はがれ、たわみ、ひび割れ	
土台	土台	6. 基礎からのずれ・浮き、断面欠損はないか		開口部	建具	18. 建具・建具枠にガタツキがなく開閉ができるか	
	大引き、床束、根太	8. 傾斜、たわみ、床鳴り、振動等はないか			防水	19. 建物の変形による開閉不良がないか 20. 開口部まわりのシーリング劣化による雨水浸入がないか	
軸組	柱、間柱、筋交、胴差	9. 腐朽・蟻害はないか		水まわり	水栓・厨房・衛生器具	21. 水漏れ・作動不良はないか (パッキン等の消耗品は除く)	
小屋組	たる木、母屋、棟木、小屋束	10. 傾斜、断面欠損はないか			給湯	22. お湯が適温で流れるか	
		11. 腐朽・蟻害等はないか		給排水浴室	23. 洗面台・流し台に漏水はないか 24. 浴室の配管等からの漏水はないか		
		12. 雨漏り等の跡、小屋組の接合部のわれ		ガス	ガス配管	25. ガス漏れはないか (ガス設備のない場合は除く)	

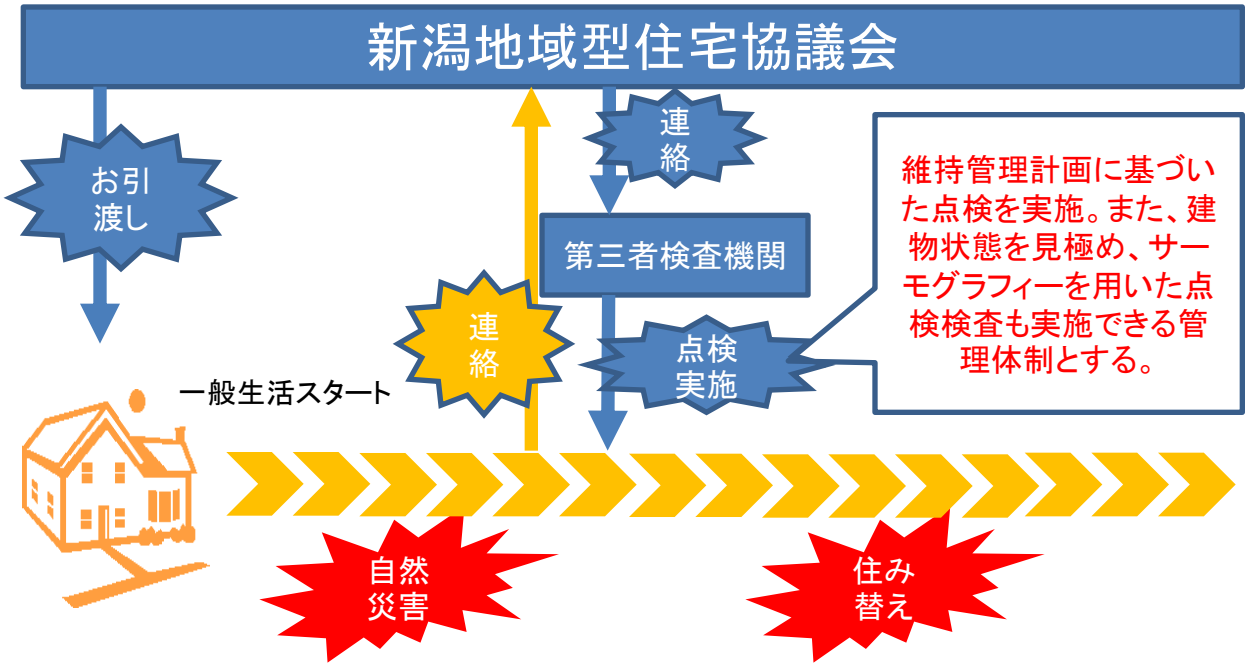
●補修依頼書

補修箇所	補修方法	補修依頼日	補修完了日	担当確認印

その他備考欄

-----  
 -----  
 -----  
 -----  
 -----

臨時点検計画について



## 計算書の解説書について

## 構造計算解説書

## I. 構造計算とは

構造計算とは、建物負担する荷重、建物に襲い掛かる力(地震・台風)に対して壊れたり、傾いたりしないよう数値を用いた計算で安全性を確かめる作業です。



**負担する荷重(鉛直方向荷重)**  
 固定荷重(建物自体の重さ・自重)  
 積載荷重(家具や人の重さ)  
 積雪荷重(雪の重さ)



**建物に襲い掛かる力(水平方向荷重)**  
 地震力(地震の力)  
 風圧力(台風など風の力)

\* 木造2階建て住宅でも、構造計算なしでは安全性を確認できません。

## II. 構造計算の流れ

1. 一般事項	建物の概要・使用部材、材料の情報確認など
2. 水平力の検討	地震力・風圧力に対して建物の安全性の確認
3. 各部の設計	建物を構成する柱や梁など骨組みの安全性の確認
4. 地盤・基礎の設計	地盤と基礎の安全性の確認

## III. 判定項目の解説

## 耐震性能(地震に対する強さ)

地震の力に対して、建物の抵抗する強さを示します。

耐震性能  倍

建築基準法で必要としている強さに対して、何倍強いかを表示しています

等級  レベル

「住宅の品質確保の促進等に関する法律(平成12年)」による性能表示制度における耐震性能レベルを表示しています。

等級1	建築基準法要求レベル同等
等級2	建築基準法要求レベルの1.25倍の強さ
等級3	建築基準法要求レベルの1.50倍の強さ

## 耐風性能(台風などの風に対する強さ)

台風など風の力に対して、建物の抵抗する強さを示します。

耐風性能  倍

建築基準法で必要としている強さに対して、何倍強いかを表示しています

等級  レベル

「住宅の品質確保の促進等に関する法律(平成12年)」による性能表示制度における耐震性能レベルを表示しています。

等級1	建築基準法要求レベル同等
等級2	建築基準法要求レベルの1.25倍の強さ

### 部材の性能(柱や梁など骨組の強さ)

建物を構成する柱や梁など骨組みの安全性能を示します。

柱	座屈の検討	判定	◎	安全率	○.○
---	-------	----	---	-----	-----

柱が負担する荷重に対して折れ曲がることのないよう確認します  
判定 ◎ 柱が折れ曲がる心配はありません

安全率は建築基準法要求レベルに対して何倍強いかを表示しています

柱	土台めり込みの検討	判定	◎	土台プレート	有・無
---	-----------	----	---	--------	-----

柱が負担する荷重により、柱を乗せている土台がめり込むことのないよう確認します  
判定 ◎ 土台がめり込む心配はありません

柱荷重が大きく土台がめり込む部分は、土台プレートを使用し安全性を確認します

土台プレート 有	土台プレートを使用部分有り
土台プレート 無	土台プレートを使用部分無し

梁	曲げの検討	判定	◎	安全率	○.○
	せん断の検討	判定	◎	安全率	○.○
	たわみの検討	判定	◎	安全率	○.○

梁が負担する荷重に対して曲がったり、ちぎれたり(せん断)、たわんだりしないよう確認します

判定 ◎ 梁が曲がったり、ちぎれたり、たわむ心配はありません

安全率は建築基準法要求レベルに対して何倍強いかを表示しています

### 地盤・基礎性能(地盤の硬さ、基礎の強さ)

#### 地盤

地盤調査方法	地盤調査の方法を選択します
地盤補強の有無	地盤調査結果より、地盤補強の有無を選択します
地盤補強方法	地盤補強方法を記載します
設計用地耐力	地盤補強後の設計用地耐力を記載します

#### 基礎

基礎形状	基礎形状を選択します
接地圧安全性	接地圧＝建物重量/基礎面積を算出し、接地圧/設計用地耐力を計算 安全性1.0倍以上で安全とします

# 総合判定書

〇〇 〇〇 様邸 新築工事

構造計算により、以下の通り安全性能を確認しました。

## I. 耐震性能(地震に対する強さ)

2階耐震性能	1.3	倍	等級	2	レベル
1階耐震性能	1.3	倍	等級	2	レベル

\* 建築基準法で必要としている耐震性能を1.0とします

\* 耐震等級は品確法、性能表示制度の等級を示します

## II. 耐風性能(台風などの風に対する強さ)

2階X方向耐風性能	1.4	倍	等級	2	レベル
2階Y方向耐風性能	1.5	倍	等級	2	レベル
1階X方向耐風性能	1.4	倍	等級	2	レベル
1階Y方向耐風性能	1.6	倍	等級	2	レベル

\* 建築基準法で必要としている耐風性能を1.0とします

\* 耐震等級は品確法、性能表示制度の等級を示します

## III. 部材の性能(柱や梁など骨組の強さ)

柱	座屈の検討	判定	◎	安全率	1.2
	土台めり込みの検討	判定	◎	土台プレート	有
梁	曲げの検討	判定	◎	安全率	1.2
	せん断の検討	判定	◎	安全率	1.2
	たわみの検討	判定	◎	安全率	1.2

## IV. 地盤・基礎性能(地盤の固さ、基礎の強さ)

地盤	地盤調査方法	◆ SWS試験 ・ 表面波探査法 ・ その他( )			
	地盤補強の有無	◆ 不要 ・ 必要			
	地盤補強方法	沈下検討・不同沈下検討により不要			
	設計用地耐力	35	k N/m <sup>2</sup>		
基礎	基礎形状	◆ べた基礎 ・ 布基礎			
	接地圧安全性	1.6	倍		

\* SWS試験:スウェーデン式サウンディング試験

# 住まいの手引き

新潟地域型住宅協議会

## 屋根

心配だからといって、むやみに屋根に上がらないことが大切です。転落したり、傷んだ箇所を踏み抜いたりすることもあり危険です。少し離れた所から全体を見るか、ご相談ください。

屋根の形状には、大きく「切妻」「寄棟」「入母屋」「片流れ」4つのタイプがあります。また、屋根の種類にスレート葺き・金属板葺き・瓦葺きなどがあります。屋根の種類によって保守・点検時の留意点が異なるので注意しましょう。

材料	特徴	お手入れ	損傷
屋根用化粧スレート葺き	化粧スレートは住宅用屋根葺き材の一種で、耐候性(日差しや風雨に耐える力)に優れ、軽量なので洋風の屋根葺き材などに広く使われています。表面の彩色に陶器質の微粒子を圧入してあることから、色落ちや色あせが少ないのが特徴となっています。	特に日常のお手入れの必要はありませんが、台風などの風雨・強風の影響で、ズレや割れ、浮きが生じることや、また長期的には、色褪せや色落ちなども考えられます。	ズレ、割れ、浮き、色あせ、色落ち
金属板葺き(瓦棒葺き)	金属板葺き屋根には、一般にトタンと呼ばれるような亜鉛メッキを施した亜鉛鉄板や、亜鉛鉄板に2回塗装・2回焼付けを施した着色亜鉛鉄板が使われます。金属板は、加工しやすく施工性に優れ、複雑な屋根形状にも対応できる長所があります。	金属なので、さびが生じると著しく耐久性を損なうので、定期的な点検・メンテナンスが必要です。さびが発生する前に、定期的な塗り替えなどのお手入れを心がけましょう。屋根に落ち葉やゴミがたまった状態にしておくと、水はけが悪くなり、そこからさびが生じてしまいます。落ち葉やゴミを見つけたら、ホースで水をかけて落としたり、竿などで取り除いたり、屋根に上がることなく安全に処理できる方法でお手入れするようにしましょう。また、海岸沿いなど、周辺環境によって腐食の進み具合が異なるので、定期的な点検と塗り替えを検討するようにしましょう。	さび
瓦葺き	粘土瓦は粘土を使って焼いた日本の伝統的な屋根葺き材で、耐候性・耐火性に優れています。表面に釉薬を塗った釉薬瓦と塗られていない無釉瓦(いぶし瓦・素焼き瓦など)があり、形状によって和形・洋形があります。	特に日常のお手入れの必要はありませんが、瓦葺きは一般的に、軒先やけらば(切妻屋根の端部分)などの要所に釘止めされるだけなので、地震や台風、年月の経過によってズレが生じてくる場合があります。地震や台風の後はもちろん、定期的な瓦のズレや割れを点検しましょう。	ズレ、割れ
雨どい	雨どいは、屋根からの雨水を受け止め、集めて流すという大切な機能を持っており、これを維持するためのお手入れが必要です。塩化ビニール製のものが多く、強い日差しや風雨に晒されることで割れたり、劣化を起したりする場合があります。	雨どいは一箇所詰まりを起こしただけで、雨水が溢れ、家屋の外壁をぬらしたり、泥水を跳ね返したり、建物自体を汚す原因となります。雨どいに溜まった落ち葉やゴミ、砂埃は、普段から気づいた時に取り除くようにしましょう。年に2~3回の定期的な清掃を目安に台風などの前後、落ち葉の季節には注意しましょう。掃除は、以下のを要請まで、竹べらや要らなくなった歯ブラシなどで泥を落とす。小さなチリ箒や刷毛などで落とした泥や集水器のゴミ・落ち葉などを集めて捨てる。堅どいは、ボロ布を紐で縛ったものを通して、詰まりを取り除く掃除が終了したら、水を流す。	

屋根用化粧スレート葺きは靴底が固いと破損、金属葺きは損傷、瓦葺きは焼きもののため割れる・損傷するなど、それぞれ注意すべき点があります。アンテナ工事などで業者の人が屋根に上がる場合などは、特に注意してもらいましょう。



## 外壁

外壁は、埃やコケ・カビなどが付いたままだと、防水性能が劣化し、そこにひび割れなどが生じると、雨水が浸入して建物の構造体の腐朽につながります。日頃から目や手で確認して、変色や塗膜の劣化、ひび割れがないか点検しましょう。お手入れの基本は、水洗い。ホースなどで水をかけながらやわらかいブラシやスポンジで埃や泥、コケを洗い落としましょう。落ちにくい汚れは、中性洗剤をぬるま湯で溶かしてブラシでこすります。最後に水洗いで洗剤成分をしっかりと流しておくことも忘れずに。風の強い日は、洗っても埃が付着してしまうので、風のない天気の良い日を選びましょう。

材料	特徴	お手入れ	損傷
サイディング	同一規格で製造された板状の外壁材の総称で、窯業(セメント)系、金属系、セラミック系などがあります。セメント質と繊維質を主な原料とした窯業系は防火性・施工性・意匠性に優れ、金属系は断熱性や遮音性に配慮した複合パネルが主となります。	汚れは、塗膜にキズがつかないよう、やわらかいブラシやモップで水洗いします。落ちにくい汚れは、中性洗剤をぬるま湯で薄めたもので洗い、洗剤成分はしっかりと水で洗い落とします。金属系は吸湿性が低いいため、簡単な水洗いで汚れは落ちますが、表面にキズがつくとさびの原因になるので注意しましょう。	汚れ・色あせ・色落ち・ひび割れ・シーリング部分の劣化
モルタル壁	モルタル仕上げは、仕上がりの美しさから外壁で多く用いられています。モルタルを塗った上から、吹きつけタイルやリシン(砂粒状の塗料)などで仕上げ塗装をしています。モルタル壁は、その性質上、乾燥収縮によるひび割れが生じやすく、これを完全に防ぐことは困難です。しかし、ヘアクラック(毛髪程度の細かいひび割れ)程度ならば、下層に貼られた防水シートや耐水合板などの防水層があるので心配は要りません。	モルタル壁に雨水などが跳ね上がって汚れた場合は、表面を損傷しないようにやわらかいブラシなどで水洗いします。また、特に北側壁面のカビやこけなどの汚れは要注意です。カビやこけの発生場所は水分が多くジメジメしているため、冬の朝などに水分が凍結し体積が膨張して、ひび割れにつながる恐れがありますので注意しましょう。	汚れ・色あせ・色落ち・ひび割れ・はがれ・シーリング部分の劣化
タイル壁	タイルは板状の陶磁器質の建材で、耐候性・耐水性・防水性に優れ、古くから建築物の内外装として使われてきました。タイル貼りは、一般にモルタルを塗った上に仕上げ材としてタイルを貼る湿式工法、構造用の合板の上に防水シートを貼って、さらにパネルを取り付け、そこにタイルを一枚一枚引っかけ貼る乾式工法の2つの方法があります。	汚れた時は、タイル材を傷つけないようブラシやモップで水洗いします。乾式工法の場合、目地のモルタルにひび割れが生じると、下地のパネルに雨水が侵入し、腐食することがあるので注意しましょう。また湿式工法の場合、大きな割れを放置したままにすると、下地のモルタルがはがれ、建物の耐久性に影響するので、早めに補修しましょう。	汚れ・はがれ・割れ
板張り	ヒノキや杉、ラワンなどの板に、ワニスやオイルステイン、オイルペイント(ペンキ)などで塗装した板を貼って仕上げた壁です。自然材質なので、天候や温度、湿度などの環境変化の影響を受けやすく、雨水や湿気で腐らないよう、なるべく乾燥した状態を保つようにしましょう。一方、夏場などに日光が当たり過ぎると色あせや色落ちが進むので、簾やよしずなどで日光を遮る工夫も必要です。	気になる汚れは、乾いたタオルやハタキなどで埃を落としてから、住宅用洗剤を水で薄めた液に雑巾を浸し、軽く絞って壁全体を均一に拭きましょう。こすり過ぎると色落ちや変色の原因になるので、注意しましょう。汚れが取れたら、固く絞った雑巾で洗剤をしっかりと拭き取ります。	色あせ・色落ち・反り・腐朽・割れ
はしごや脚立を使って、点検やお手入れなどの作業をする場合は、転倒や転落の危険があるので、注意が必要です。必ず二人一組で行いましょう。			
外壁と開口部(窓など)の取り合い部分やサイディング材の継ぎ目などに充填している弾力のあるゴム状の材料のことをいいます。建物は外からの力を受けて変形したり、動いたりしますが、この建物の動きによって外壁が割れたりはがれたりしないように、シーリングが伸縮し衝撃を吸収するクッション材として働きます。			
さらに建物のすき間から水が建物内部に侵入するのを防ぐ第1の防波堤(その内部にも防水シートなど、防水のための措置はあり、シーリングだけが防水しているわけではありません)の役目もあります。			

床

床材には、フローリング、畳、カーペットなど、さまざまな素材があり、素材の特徴に合ったお手入れ方法があり、そのコツを知ることで、床を長くきれいに保つことができます。

どのようなものでも時間が経つと汚れやシミはひどくなります。毎日のお掃除をはじめ、汚れやシミはひどくなる前にまずは自分でこまめなお手入れを心がけてみましょう

材料	特徴	お手入れ	損傷
<p>フローリング(縁甲板)</p>	<p>現在、洋室の床としてはもっとも一般的なものです。木材の性質により、水分を吸収・放出する調湿機能がありますが、その際には伸縮も伴うため、乾燥収縮の繰り返しにより、表面の細かいひび、反りやすき間などを生じるおそれがあります。お手入れの際には、なるべく水を使わないようにしましょう。</p>	<p>木質の床材に使用できる、中性もしくは弱アルカリ性の住宅用洗剤を薄めた液で濡らした雑巾を固く絞って汚れを拭き取り、きれいになったら、水で濡らして固く絞った雑巾で洗剤分を拭き取り、さらに乾いた布で水分を十分に拭き取ります。                      擦り傷・シミの予防には、定期的なワックス掛けが有効です。転倒防止のため、必ずすべり止め剤入り木質床用ワックス(ニス塗り木質床用、塗装木質床用と表示されたもの)を使用しましょう。                      ワックスを全体に塗ったら、完全に乾燥するまでは窓を開け、風通しをよくしましょう。乾燥時間は、カラッと晴れた日で、冬:1時間、夏:30分程度が目安です。</p>	
<p>畳</p>	<p>畳は、日本の気候風土に適した材料で、保温性、調湿性、感触のよさが得られる反面、直射日光に当てると変色しやすく、吸水性があり、ダニ・カビが発生しやすい面もありますので、日常のお手入れが重要です。</p> <p>最近では、比較のお手入れが楽なポリスチレンフォームやプラスチック製の畳もあります。</p>	<p>畳の目にはホコリがたまりやすいので、ほうきや掃除機で畳の目に沿って掃除することが、畳を傷めずきれいに保つコツです。</p> <p>年に1回は、晴れた日に畳干しをしましょう。畳の裏面を日光に当てて、マスクをして軽くたたきホコリを出して、掃除機をかけます。干す場所がない場合は、畳を上げて畳の裏面に風を通すだけでも効果があります。畳を敷き込む時は、元通りに配置しないとすき間ができたり、上手く収まらない場合がありますので、干す前に目印をつけて同じ位置に戻すようにしましょう。</p> <p>畳にカビが生えるのは湿気が多いためです。カビが生えた場合は、湿気を取るために天気の良い日に畳干しをしましょう。</p> <p>次に、消毒用アルコールを布に染み込ませカビを拭き取ってから、掃除機で吸い取り、風を通して乾燥させます。</p> <p>カビとり際には、カビの飛び散りが危険なので、必ずマスクとゴム手袋を身につけましょう。</p>	

<p>カーペット</p>	<p>カーペットは毛足の短いものから長いものまで種類が豊富です。こまめな掃除でダニの繁殖を軽減しましょう。掃除がしにくい部屋の隅や家具の後ろは、ダニの住みかになりがちなので気を付けましょう。天気の良い日は、窓を開け風通しをよくして、余分な湿気を放出し、カビの発生を防止しましょう。</p>	<p>掃除機で毛並みにそって毛足を痛めないように行います。毛足の長いものは、手で触って色が濃くなる方向にナイロンヘアブラシをかけ、毛足を起こし奥にもぐり込んでいるホコリを浮き上がらせます。その後で、毛並みにそって毛足を寝かす方向に掃除機をかけると、見違えるほど清潔になり、毛足の感触もよくなります。</p> <p>部分的な汚れは、市販のカーペット用洗剤が住宅用洗剤を薄めたぬるま湯を用い、固絞りの雑巾で、汚れの外側から内側に向けて目なりにたたくようにして拭きます。むやみにこすると汚れが周辺に広がってしまうので気を付けましょう。</p> <p>全体が薄汚れてきたら、市販のカーペット用洗剤や中性洗剤で簡易クリーニングを行きましょう。</p> <p>固く絞った雑巾をおしぼりのように巻いて毛並みに沿ったり逆らったりして拭きます。雑巾は5～10枚を最初から用意しておき、汚れたら取り替えます。最後に乾いた布で水気を十分に取り、窓を開けて風通しをよくして乾かします。</p>
<p>クッションフロア</p>	<p>一般にクッションフロアと呼ばれ、洗面室、トイレ、キッチンなどに多く使われています。</p>	<p>普段のお手入れは、固く絞った雑巾で拭き掃除をします。汚れが目立つ場合は、お湯で薄めた中性洗剤を使って拭き取った後、水拭きしましょう。定期的にクッションフロア用のワックスで磨くと、より長持ちします。</p> <p>年数が経つとクッションフロアをとめている接着剤が劣化し、隅からはがれてきます。放っておくとはがれの範囲は広がり、足に引っ掛かり転倒するおそれも出てきます。反り癖がつく前に劣化した接着剤をヘラなどでかき落とし、市販のクッションフロア用接着剤を塗り、半日ほど重石(おもし)をして定着させましょう。</p>
<p>玄関</p>	<p>玄関は、屋内と屋外の接点であり、家の顔です。いつもきれいに保ちましょう。</p> <p>玄関の汚れは、戸外からの土ぼこりや泥が主なものです。庭先やポーチの砂や泥を掃除する、玄関マットを置くなどの工夫をすることが有効です。また、週に1度はポーチの水洗いをしましょう。</p>	<p>鉄平石、つや消しタイル: 土ぼこりを掃き出した後、水洗いし、から拭きします。月に1度くらいの割合で、油性ワックスをかけ、布でよくすり込み表面の油のつやが消えたら、布を取替え十分から拭きします。</p> <p>磁器質タイル: 普段は水拭きとから拭きだけで十分です。汚れのひどい時は、たわしで隅々までこびりついた汚れを落とします。月に1度くらいの割合で、鉄平石・つや消しタイルと同じ要領で油性ワックスをかけましょう。</p> <p>鉄平石、つや消しタイル、磁器質タイルなどの割れた箇所は、随時補修または交換しましょう。また、土間などでコンクリートを補修した上に防水塗装や防塵塗装を施してある塗り床は、色落ちや色あせが生じたら塗替えを検討しましょう。</p>

シミの原因になる水分を染み込ませない

木質床材の継ぎ目や表面塗装が劣化した部分から水が染み込むと、表面材の割れやはがれが発生します。

水・コーヒー・醤油などをこぼしたら、乾いた雑巾などですぐに拭き取りましょう。

ワックスは、商品説明書を確認し、適したものを選び、全体に塗る前に目立たない部分に塗って、変色などが起きないことを確認しましょう。また、ワックス不要の木質フローリング材もありますので、フローリングの仕様・性能を確認しましょう。

シミがついた場合の処理方法：塩素系漂白剤を水で薄めて綿棒でシミ部分に塗ると、数分で脱色されて美しくなります。ただし、濃度が高すぎると畳の青さまで漂白してしまうのでご注意ください。

家具などによるくぼみの修復：へこんだ部分にスチームアイロンの蒸気を掛けて蒸し、倒れている毛並みの逆から掃除機を数分間あてて起こします。仕上げに、元の毛並みにそって手でならずと目立たなくなります。この時、直にアイロンをカーペットの上に置かないように気を付けてください。

クッションフロアは、ビニル製のため、鍋、やかん、フライパンなど熱いものを直接置かないようにしましょう。厚さ2～5mm程度のクッション材を含んでいるため、表面が柔らかく、傷やへこみがつきやすいので、重い物や尖った物を落とさないように注意しましょう。

大理石や御影石などの天然の石は、吸水性が高いので、汚れた水分や油分が染み込むと、石の中に浸透してシミや汚れになってしまいます。洗面室などの床が大理石貼りの場合は、必ずマットなどで水分を防ぎ、玄関タタキなどで水気のあるものをこぼした場合は、すぐに拭き取ることが大切です。

・酸性に弱いので、洗剤を使う場合は中性洗剤を選択し、必ず目立たない場所で試してから使いましょう。

壁・天井

壁と天井は同一の素材を使用することが多く、ビニルクロス貼り、布クロス（織物壁紙）貼り、板張り・化粧合板張りなどがあり、素材の特徴に合わせたお手入れ・汚れの落とし方があります。

壁と天井は同一の素材を使用することが多く、ビニルクロス貼り、布クロス（織物壁紙）貼り、板張り・化粧合板張りなどがあり、素材の特徴に合わせたお手入れ・汚れの落とし方があります。

材料	特徴	お手入れ	損傷
ビニールクロス	<p>ポリ塩化ビニルを主原料とする壁紙のことを「ビニルクロス」もしくは「ビニル壁紙」といいます。ビニルクロスは、水拭きができ、汚れを比較的簡単に落とすことができますが、貼り合わせ部分に水が入ると、はがれの原因になりますので、水拭きは、固く絞った雑巾で行います。</p>	<p>汚れ：普段のお手入れは、表面の汚れをはたき、掃除機などでむらなく掃除します。</p> <p>手あかなどの落ちにくい汚れは、住宅用洗剤を薄めたぬるま湯を含ませた布（それでも落ちにくい汚れには、その布でたわしをくるんだものや、使い古して先が丸くなった歯ブラシ）で軽くこすって拭き取った後、水で固く絞ったきれいな布で拭きましょう。</p> <p>また、メラミン樹脂を原料としたスポンジに少量の水を含ませて軽くこすっても、汚れはよく落ちます。その際、すぐにスポンジの表面が汚れるので、つねにきれいな面で拭くように気を付けましょう。</p> <p>カビ：表面のカビを取る場合は、中性洗剤などを薄め、固く絞った雑巾で拭き、ドライヤーで乾燥させるとよいでしょう。市販のカビ取り剤を壁に直接スプレーする場合には、必ず下から上にスプレーして、洗剤がたれないうちに、手早く下から上に拭いていきます。洗剤がたれるとシミの原因になりますので注意しましょう。それでも落ちない場合には、塩素系の漂白剤を表示に従って薄め、ハケ（使い古しの歯ブラシやティッシュなどでも代用できます）でカビの部分に塗ります。20分程そのままにしておき、ぬるま湯で絞った雑巾で拭き取ります。カビ取り剤や漂白剤を使用する際は、窓を開け、ゴム手袋やマスクを使用しましょう。</p>	カビ・はがれ
布クロス	<p>織物（もしくは不織布・フェルト・編物など）を紙で裏打ちした壁紙です。</p> <p>自然素材ならではの調湿性、通気性に優れ、結露が発生しにくいという特徴があります。</p> <p>最近は、撥水加工されたものもあり、お手入れしやすいものが増えていきます。</p>	<p>ホコリが付きやすいので、表面の汚れをはたき、掃除機などでむらなく掃除します。</p> <p>少々の汚れは、消しゴムや食パンでこすると落とせます。手あかなどがついた時は、住宅用洗剤を薄めたぬるま湯を布に含ませ、上から叩くように拭き取り、表面を傷めないように注意しながら、仕上げに乾いたきれいな布で拭きます。水拭きは、汚れが染み込んでしまうことがあるので気を付けましょう。</p>	カビ・はがれ

<p>板、化粧合板</p>	<p>化粧合板は、普通合板の表面に加工を施して木目調などの化粧をしたもので、プリント合板とも呼ばれています。</p>	<p>柔らかい布でから拭きするか、化学雑巾で汚れを落としましょう。</p> <p>汚れが目立つ時には、住宅用洗剤を薄めたぬるま湯を布に含ませ、固く絞って拭きます。その際、化粧合板などは力を入れ過ぎると表面のプリントを損傷することがあるので注意しましょう。</p> <p>石膏ボードの表面にあらかじめ化粧加工した紙を用いたものや、化粧加工した紙やプラスチックのシートなどを張り合わせたもの、塗装、型押し凹凸などで加工したものが、耐水性の低いものは水拭きできませんので、あらかじめ材料の性質を確認しておきましょう</p>	<p>浮き・はがれ、変色・割れ</p>
<p>塗り壁</p>	<p>日本古来より歴史のある材料に漆喰(しっくい)や珪藻土などがあります。塗り壁は多孔質で水を吸いこむため、掃除には注意が必要で、特に日頃のお手入れが大切です。</p> <p>柔らかく傷がつきやすいため、こすると表面を傷めたり、汚れを広げたりするので注意してください。</p>	<p>水拭きは厳禁です。帯電タイプのハタキや、洋服ブラシのようなブラシやハケ、筆などを使ってホコリを払いまです。汚れが再付着しないように、きれいなブラシを使用することが大切です。</p> <p>きれいに洗った掃除機の丸ブラシでホコリを吸い取ります。</p> <p>手あか汚れが気になる場合は、240～360番くらいのサンドペーパーで軽くこすり落とし、周囲との境目をぼかし気味にするとよいでしょう。</p>	<p>ひび割れ・浮き、はがれ</p>
<p>洗剤を使用する場合は、付近の床や柱、家具などに洗剤がつかないように注意し、必要に応じて床や柱、家具などを包装紙などで覆い、養生テープ(30mm幅程度のマスキングテープ)で固定して洗剤から保護します。</p>			
<p>ただし、化粧合板などに、直接テープを貼ることは避けましょう。はがす際に、表面剤も一緒にはがれたり、浮いたりして、はがした後が汚く残ってしまう場合があります。</p>			

## キッチン

キッチン回りをきれいに保つためには、炊事のたびに拭き掃除などを行うことが大切です。それでも、避けられない換気扇などの油污れなどは、汚れがひどくならない程度の大まかな間隔の目安をつかみ、計画的にお手入れや点検を行うことをおすすめします。

キッチンの汚れは、油污れが中心ですが、器具や素材に合わせて、洗剤、道具を上手に選択することがポイントです。さらに、重曹などを使用したナチュラルクリーニングなども試してみましょう。

材料	特徴	お手入れ	損傷
流し台	その日の汚れは、その日のうちに落とすことが基本です。汚れはキッチン用洗剤で落とし、使用後は必ず水気を拭き取りましょう。週1回を目安に、キッチンカウンターやシンクをキッチン用洗剤で拭きましょう	排水トラップは、生ゴミなどが排水管に入らないよう、また悪臭が上がってこないような仕組みになっていますが、油脂類、野菜クズなどは、つまりの原因になるので流さないように注意しましょう。 定期的にパイプ用洗剤で排水管を掃除すると、脂肪分を落とすのに効果があります。(洗剤を使う間隔は洗剤の使用上の注意を読んでください)排水管口のカゴは、2～3日ごとに洗いましょう。 ・流し台の下部などのキャビネットは、湿気や臭気がこもりやすいので掃除の際は開放しましょう。	キッチン 天板と壁の接合部の 汚れ、 シーリングの劣化
コンロ	ガスコンロを使った後は、その都度お湯拭きをしましょう。こびりついた汚れは、キッチン用洗剤を直接ふりかけ、しばらく置いてからこすり落としましょう。電磁調理器は、ガスコンロに比べ楽に掃除できますが、コンロまわりの汚れなどは、固まらないうちに拭き取るのが原則です。  ガラスストッププレートの天板の汚れを落とすときには、台所にあるラップが使えます。ラップ数センチを手でぐしゃっと丸め、そこに洗剤を垂らし天板をこすると汚れがとれます。仕上げはやわらかい布で拭いてください。	・ガスコンロ:五徳(ごとく)は台からはずして、クレンザーなどで磨きましょう。ガスレンジの受け皿は、シンクにキッチン用洗剤を入れたお湯を張り、つけ置き洗いすると効果的です。  ・電磁調理器(IHクッキングヒーター):汚れを放置すると調理のたびに高温で汚れが焼きつき、焦げつき汚れになります。一般的に電磁調理器の表面はフッ素コーティングされているので、クリームクレンザーや固いスポンジでこするとコーティングがはげてしまうおそれがあります。コーティングがはげると火傷や火災の可能性も高くなり、性能的にも低下してしまいます。炊事のたびに表面の汚れを拭き取る習慣をつけましょう。 ・コンロまわりの壁など:コンロまわりの壁、窓台、戸棚などは、油はねなどが付着しやすい箇所です。時間がたつにつれて汚れは落ちにくくなります。毎日使用後に軽く水拭きなどをして、付着した汚れはすぐに落としましょう。	コンロの 電池切れ(使用 頻度にも よりますが、約1 年)

<p>キッチンの壁・天井</p>	<p>炊事による水蒸気、油や煙などにより、最も汚れやすい部位です。壁は、一般的にタイル貼り(または、キッチンパネル)が多いので、天井に比べて掃除は比較的簡単ですが、天井はハタキなどを掛けると、かえって油汚れを広げてしまうおそれがありますので注意しましょう。炊事の際は換気をよくし、水蒸気や煙を放出するように心がけましょう</p>	<p>・壁:タイル貼りやキッチンパネルの場合、1週間ごとにキッチン用中性洗剤を薄めたもので汚れを落とし、その後水拭きをしましょう。もしなかなか取れない場合は、薄めたキッチン用洗剤をスプレーしたティッシュペーパーを少しの時間貼り付けておき、汚れを溶かし出して、その後ティッシュをはがして汚れをきれいにふき取り、仕上げにきれいな雑巾で洗剤分を拭き取ります。それでも、まだ汚れが目地に残っている場合は、キッチン用洗剤や強力洗剤(クレンザーなど)を下から上へ拭き掛け、5分ほどおいてから、きれいな歯ブラシなどでこすり、仕上げにきれいな雑巾で洗剤分を拭き取ります。</p> <p>・レンジフード:外側の油汚れなどは、気づいた時に水もしくは住宅用洗剤で湿らした布で拭き取ります。さらに、半年に1度、あるいは年に1度はフィルターを取り外して、中性洗剤をいれたぬるま湯に30~40分間つけ置き洗いをします。アルカリ性、弱アルカリ性の洗剤は塗装面をいためる恐れがありますので使用しないでください。</p> <p>残った汚れはスポンジ、ナイロンたわし、歯ブラシなどでフィルターの目にとってお湯で汚れを洗い流し、水分がなくなるまで拭き取って乾燥させます(金属たわしなどの硬いものは不可)。フィルターやすき間の汚れは、棒に布を巻きつけたものを使うと便利です。</p> <p>・換気扇:月1回を目安に掃除しましょう。その際はプラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切るなどして作動しないことを確認し、羽根などで怪我しないように厚手のゴム手袋を着用しましょう。</p> <p>軽い汚れは、市販のキッチン用洗剤を用います。直接吹きかけるものや、つけ置きするものなど、それぞれの取扱説明書に従って作業してください。塗装がはがれるおそれがあるので金属製のたわしは使用せずに、樹脂製のたわしを使用してください。きれいになったら、仕上げに洗濯用柔軟剤やリンスなどを薄く塗ると、汚れ防止になり、次回の掃除が楽になります。また、汚さないようにフィルターをかけるなどの工夫も汚れ防止に効果的です。</p>	<p>スイッチの故障</p>
<p>キッチンカウンターがメラミンや人造大理石の場合は、熱いものを直接置いたり、カウンターの上で直接包丁を使ったりしないように注意しましょう。</p>			
<p>ステンレス製の場合は塩素に弱いので、塩素系漂白剤を使用した時は、すぐに洗い流してください。</p>			
<p>また、メラミンや人造大理石の場合を含め、スチールたわしやクレンザーは、傷、変色の原因になるので使用しないでください。</p>			



浴室・トイレ

水まわりは、使用するたびに必ず水がはね、また石鹼や皮脂、排泄物などを水と一緒に流します。使用直後の簡単な掃除を習慣にするだけで、お手入れの手間が大きく違ってきます。

浴室、トイレ、洗面所、流し台などの初期的なつまりであれば、ラバーカップでおおむねつまりを解消できます。また、水が流れない、反対に水が止まらない、という場合でも、設備ごとの仕組みを理解すれば、慌てずに対処できるようになるでしょう。

材料	特徴	お手入れ	損傷
浴室	<p>浴室は大量の水蒸気が発生するため、結露による木質部分の腐朽、カビの発生などの危険も高い場所です。水分だけでなく、石鹼カスや汚れもカビの原因になりますので、つねに清潔に保ちましょう。</p>	<p>・入浴後のひと手間：(1)浴室の床は、石鹼カスや微生物の発生によりヌルついてきます。浴室から出る直前にシャワーでできるだけ熱いお湯を浴室全体にかけます。その際、自分にかかってやけどをしないように注意してください。特に、身体を洗い流した時に流れ出る皮脂がかかっていそうな場所にはまんべんなく、皮脂を洗い落とすことができるように、シャワーの勢いを強くするとより効果的です。また、浴室の隅や風通しの悪そうな場所にも、高温のお湯をかけることで、カビの大好物の皮脂も流れ落ち、カビ菌そのものも弱ります。この時に天井などに設置している浴室乾燥システムなどに直接お湯がかからないよう十分に注意してください。</p> <p>(2)こびりついた汚れはやわらかいスポンジでこすり落とします。その後、水のシャワーをかけましょう。浴室内の温度が下がるので水蒸気がなくなります。時間があれば、タオルなどで水滴をさっと拭き取るとなお効果的です。そのあとは、窓を開けるか、換気扇を回し換気しましょう。</p> <p>・排水口：浴室の排水口には、椀(わん)トラップが設けられています。毛髪や石鹼カスがたまると排水不良を起こしますので、こまめに掃除しましょう。</p> <p>・壁や天井、タイル目地：週に1回を目安に浴室用洗剤を用いて、湿気や石鹼の飛び散りによる壁や天井のヌルつきを洗い流しましょう。併せて、照明、鏡、風呂釜、収納棚など浴室全体を掃除しましょう。掃除の後は、窓やドアを開放し、風通しをよくして乾燥した状態を心がけましょう。壁、天井、タイル目地、シャワーホースなどの黒い汚れはカビです。市販のカビ取り剤や塩素系漂白剤を筆や柔らかいブラシで塗りつけ、放置した後で水洗いします。ヘアピンやカミソリなどによるさびがタイルや目地に付着した場合は、練り歯磨きをつけて布で磨くか、市販の食器用研磨材を使用します。</p> <p>・ユニットバス：FRP(繊維強化プラスチック)製ユニットバスなどは、研磨剤を使用したり、硬いたわしで手荒く扱ったりすると表面が傷つくので、スポンジや柔らかいブラシを用い、浴室用洗剤で洗います。タイル部分を硬いたわしなどで手荒く扱くと、タイル表面や目地の損傷につながりますので注意してください。</p>	<p>カビ、シーリングの劣化、タイルなどの割れ、排水口のつまり、ユニットバスのジョイント部の割れ・すき間</p>

<p>トイレ</p> <p>悪臭の発生は、封水が少ない、器具がぐらついてすき間が生じているなどの原因が考えられます。各部位を確認しましょう。また、換気扇が正常に作動することも確認しましょう。</p>	<p>・使用後のひと手間：便器と便座は使用した後に、市販のトイレ用クリーンペーパーなどで、こまめに掃除するようにします。</p> <p>・便器：定期的に(1ヶ月に1回程度)念入りに掃除しましょう。普通の汚れはその箇所に洗剤をかけ、しばらく放置した後ブラシやスポンジで軽くこすり落とします。汚れがひどい時には、クリームクレンザーをブラシや布につけてこすり落とします。ふたの裏側の黒ずみ汚れは静電気をついたホコリなので、キッチン用の中性洗剤を100倍に薄めた液で拭き取ればきれいになります。仕上げに柔軟剤を塗っておくと汚れにくくなります。</p> <p>(汚れのひどい時)トイレペーパーを、便器の内側の汚れているところに敷きます。敷いたトイレペーパーにトイレ用中性洗剤をたっぷりしみ込ませ、30分ほど置きます。シャワートイレ・暖房便座の場合は、便座を上げたままにしてください。</p> <p>30分後、トイレブラシでペーパーごとこすり、水を流します。</p> <p>・便座：週に1回を目安に、水で濡らした柔らかい布を十分に絞り、トイレ用洗剤やキッチン用中性洗剤を含ませて全体を拭きます。</p> <p>・手洗付タンク手洗付タンクの受け皿の水あかは、トイレ用洗剤やクリームクレンザーを使って拭き取りましょう。この汚れは、カルシウムやカルキなどが堆積した金属汚れとも言われるもので、なかなか取れにくいので、通常の掃除できれいににならない場合は、クエン酸を溶かしたお湯でキッチンペーパーを濡らして、汚れている箇所にあてて30分位湿布します。そして少し固めのスポンジなどでやさしくこすってみましょう。それでも、まだ汚れが気になる場合には、同じ工程をもう一度繰り返しましょう。</p> <p>また、梅雨時や湿度の高い時の結露による水滴はカビの原因にもなるので、こまめに水滴を拭き取りましょう。</p> <p>・機能付便座：温水洗浄機能付便座は、コードがねじれていないか、接続部分にゆるみがないか確認し、3日間以上使用しないときは本体の水と電源プラグを抜いておきましょう。また、凍結のおそれがある時も、本体内部で凍結して破損し、水漏れの原因となるので水を抜いておきましょう。</p> <p>操作タッチパネル部分は、割り箸に布を巻き付けたものや綿棒に洗剤を含ませて汚れを取り除きましょう。メーカーによって、ノズル掃除機能が付いているタイプがあるので、取扱説明書を確認しましょう。</p> <p>脱臭機能付便座は脱臭カセットにホコリがつくと効果的な脱臭性能が得られません。効果が弱くなったり、脱臭音が大きくなったら掃除機でホコリを取り除き、脱臭吸込口のつまりを歯ブラシで取り除きましょう。(脱臭カセットの寿命は4人家族を目安として7年程度です)</p> <p>・パイプなどの金属部分：金属部に青さびが発生した場合は、クレンザーは使用せず、市販のさび取り剤を使って落とした後、防さび剤やカーワックスを塗っておくと発生しにくくなります。</p> <p>トイレの床や壁金属部に青さびが発生した場合は、クレンザーは使用せず、市販のさび取り剤を使って落とした後、防さび剤やカーワックスを塗っておくと発生しにくくなります。</p> <p>金属部に青さびが発生した場合は、クレンザーは使用せず、市販のさび取り剤を使って落とした後、防さび剤やカーワックスを塗っておくと発生しにくくなります。</p>	<p>悪臭、カビ、換気不良、金属部の青さび、つまり、便器・水洗タンクの水漏れ</p>
---	---	--

<p>洗面所</p>	<p>洗面化粧台からの水はねのほか、浴室に隣接している脱衣室・洗濯スペースとして併用されていることがほとんどであるため、つねに湿気が気になる場所です。</p>	<p>・洗面所・洗面化粧台：器具や床の水滴はこまめに拭き取り、換気に心がけましょう。 週に1回を目安に洗面所も掃除します。風通しを良好に保ち、洗面ボウルに付着した毛髪や石鹸カスを除去し、中性洗剤を洗面器内にふきつけ2～3分おいたうえで、汚れを拭き取ります。仕上げは固く絞った雑巾で水拭きしてください。落ちにくい汚れは、水を張った洗面ボウルに漂白剤を少量溶かし一晩置いて水洗いしましょう。 鏡と鏡受けの間やミラーキャビネットとカウンターのすき間などの汚れは、綿棒やガーゼを巻いたつまようじ、歯ブラシを使ってお掃除します ・洗濯機の床排水：日常の衣類の洗濯では、衣類に付着した毛髪や衣類の繊維、洗剤カスやホコリなど、洗濯槽内のゴミ袋で除去されていますが、排水にもかなり含まれているため、そのままにしておくとおそれがあります。2～3か月を目安に点検しましょう。</p>	<p>換気不良、腐食 水漏れ、割れ</p>
------------	---	---	---------------------------

鋼製建具

風が吹く季節や雨が降った後など、そのつど気を付けてまめに掃除やお手入れをしておくことで、きれいに長持ちさせることができます。

毎日のように使用する建具は、少しずつ負担がかかり、滑らかに開閉しなくなるなど、不具合が起こることもあります。掃除の時に、おかしいかな？と気が付いたら、早めに調整・補修をしておきましょう。

材料	特徴	お手入れ	損傷
玄関ドア	屋外に面しているため、ホコリや汚れがつきやすい部位です。放っておくと損傷の原因になりますので、こまめに掃除しましょう。	<p>雨や強風の後は、汚れがひどくなります。特に扉の下部は水はねや泥はねで汚れやすいので、念入りに拭き取りましょう。</p> <p>・木製ドア ドアについたホコリや汚れは、週1回程度、柔らかい布でから拭きしましょう。</p> <p>・アルミ製・鋼製ドア 中性洗剤を薄めたぬるま湯に浸した柔らかい布やスポンジで汚れを落とし、後で水拭きしましょう。表面を傷つけるような研磨剤の使用は避けてください。</p> <p>・引戸・格子戸 レールに砂や小石がたまると戸の開閉に支障をきたしますので、日頃よりきれいにしておきましょう。格子戸の格子の隅や溝の掃除には専用のブラシ(使い古しの歯ブラシでも可)を用意しておくくと便利です。</p>	開閉不良、すき間、腐食 付属金具の異常
アルミサッシ	一見丈夫で美しく見える表面も、外気や雨にさらされ、かなりの汚れが付着しています。放っておくと、腐食の原因となりますので、汚れは早めに落とし、美しさを長く保ちましょう。	<p>・ガラス: 掃除の時にホコリをよく取り月に1回程度、中性洗剤で拭き、後でから拭きをしましょう。</p> <p>・アルミ窓枠: アルミは傷つきやすいので、はたき掛けをした後に雑巾で軽く拭いてください。汚れが目立ってきたら、中性洗剤をつけたスポンジで拭き取り、十分な水洗いをした後、乾いた布で水分を拭き取ってください。研磨剤やアルカリ性、酸性、塩素系の洗剤などは、傷や変色の原因になりますので使用しないでください。</p> <p>・レール部砂やホコリがたまると開閉に支障をきたしますので、いつもきれいにしておきましょう。溝の掃除には、掃除機を利用するとともに、専用のブラシ(使い古しの歯ブラシでも可)を用意しておくくと便利です。時々、戸車を掃除し、油を差すか、市販の潤滑油を吹き付けておくくと開閉をスムーズに行えます。傷により腐食してサビが出た場合は、台所用クレンザー・市販のステンレス用清掃薬剤で落としましょう。</p>	開閉不良、すき間、腐食 シーリングの劣化による雨漏り、 シーリングの劣化による雨漏り、 付属金具の異常

雨戸・網戸

敷居に砂やゴミがたまると開閉に支障をきたしますので、時々掃除をしましょう。汚れがひどい時は、中性洗剤を上手に使用しましょう。

・雨戸：汚れがひどい時は、中性洗剤を薄めた液で拭いた後、水拭きします。  
海岸地域などでは、海水の塩分の影響でさびが発生しやすいので、金属製の雨戸を使っている場合には、日頃よりこまめに表面をから拭きしましょう。  
・網戸：普段ははたき掛けしてゴミやホコリを落としましょう。さらに、網戸の片側に紙(古新聞や段ボールなど)を当て、反対側から掃除機をかけると、ホコリを簡単に吸い取れます。  
可動式の網戸を掃除する時は、網戸を外して、広い平らな場所で網戸を横にして水洗いをするとうれがよく落ちます。  
汚れがひどい時は、中性洗剤を薄めた液を用い、ブラシ、スポンジなどで網の両面からたたくようにして拭くと簡単に汚れが落とせますので、最後に水洗いし陰干ししましょう。  
網の部分に雑巾などでゴシゴシ拭くと、網の張りがなくなり、伸びてしまいます。網戸を拭く時には、網が伸びてたわまない程度の力で行いましょう。  
・折りたたみ式の網戸：最近、アコーディオン式に開閉する折りたたみ式の網戸が使われることが多くなっています。このタイプの網戸は、必要な時だけ網戸を引き出して使用し、使用しない時は、コンパクトに収納することができるので、網の劣化を防ぎ、長持ちするだけでなく、汚れも少なくて済みます。  
お手入れは、柔らかい刷毛などでホコリを取り掃除機で吸い取るか、片面に紙を当て反対側から柔らかい刷毛で上から下へ動かすと、網を傷めずにお手入れできます。油汚れがついてしまったら、片面に新聞紙を貼って、反対側から霧吹きなどで中性洗剤を薄めた液をスプレーして、少し時間を置いてから水をスプレーします。また、スチームで汚れを落とす方法も劣化を早めるので避けましょう。  
・シャッター：表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などは、しみ、腐食、作動不良などの原因になりますので定期的に掃除しましょう。  
下部の水切り部やガイドレール内部はつねに清掃し、異物などがないようにしましょう。異物があると作動不良や破損することがあるので注意しましょう。  
雨天後はシャッターを上げると水滴がシャッター内面まで付着します。シャッターボックス内は通気が良くないこともあり乾燥しづらいので、シャッターを一度下げて内外面をよく拭きましょう。

さび、建付不良、腐朽

## 内部建具

内部建具は、木材を使用していることが多く、障子やふすまは紙を使用しています。また、障子は塗装をしていない白木を使用しています。日常の掃除では、あまり水を使わないことが基本です。

建具は、温度差や湿度の違いにより、木材の反りやねじれを生じ、開け閉めが重たくなったり、すき間ができることがあります。日頃の掃除の際に点検することを習慣にして、早めに調整・補修することが大切です。

材料	特徴	お手入れ	損傷
内部ドア	外部の建具ほど汚れがひどくなる場所ではありませんが、建具表面についたホコリをハタキなどで払い、から拭きすることを習慣にしましょう。	日頃は、表面のホコリを払ってから拭きしておく程度で十分ですが、特別に汚れた場合や手あかがひどい場合は、中性洗剤をぬるま湯で薄めたものを雑巾に含ませ、固く絞って拭き取りましょう。洗剤が残るとシミの原因になりますので、乾ききらないうちに、水を含ませて固く絞ったきれいな雑巾で数回拭きましょう。ドアガラスは、ガラスクリーナーをよわらかい布につけてふくか、メガネのレンズふきクロスを利用するとよいでしょう。ドアノブやレバーハンドルは、中性洗剤を水で薄めたものを布につけてふき、その後、水ぶきしましょう。引戸タイプは、鴨居敷居の溝にロウまたは防サビ潤滑剤(シリコンスプレー)をかけましょう。ドアタイプは、蝶番部分に防サビ潤滑剤(シリコンスプレー)をかけ、何度か開閉してなじませましょう。	開閉不良、すき間、取り付け、金具の異常破損、汚れ
障子	いつも白さを保つておくために、こまめなお手入れを心がけましょう	普段のお手入れは、静電気で細かいホコリを吸い付ける機能があるナイロン製のハタキ・ダスターでホコリを払いましょう。いつもホコリがない状態にしておくことが、障子の白さを保つ秘訣です。放っておくとホコリが湿気を吸ってシミの原因になります。塗料を塗っていない木材部分のお手入れは、から拭きだけにして、シミの元になる水分が付着しないように注意しましょう。手あかなどで汚れがついた部分は、市販の白木用漂白剤を使って軽く拭き、後でお湯拭きをして漂白剤が残らないように拭き取ります。また、白木用ワックスを塗っておくと汚れが防げます。作業は、窓を開けて風通しをよくした状況で行ってください。鴨居敷居の溝にロウまたはシリコンスプレーをかけましょう。	開閉不良、すき間、破損、汚れ

<p>ふすま</p>	<p>ふすま紙をキレイに長持ちさせるためには、第一に部屋の換気をこまめに行い、ふすま紙が吸収した湿気を放出させること、第二にこまめにホコリを落としておくこと、です</p>	<p>障子と同様に、表面のホコリをこまめにとっておきましょう。          枠や引き手が汚れたら、中性洗剤をぬるま湯で薄めたもので拭き、水拭きの後に、から拭きをしっかりとしましょう。引き手まわりの手あかなどの汚れは、やわらかい消しゴムで丁寧に汚れを落としてみてください。          なお、新しくふすま紙を張替えたときに、引き手まわりに防水スプレーを吹きかけておくと、汚れが付きにくくなり、また付いた汚れが拭き取りやすくなります。          敷居についたゴミや敷居とふすまの底との間に挟まっているゴミは、竹串や楊枝などでとりましょう。          鴨居敷居の溝にロウまたはシリコンスプレーをかけましょう。</p>	<p>開閉不良、すき間、破損          汚れ</p>
<p>木製のドアは2～3年を目安にゆがみやすき間がないかを点検し、建付調整は随時行うようにしましょう。</p>			
<p>ツヤ出しのためのワックスなどは、テカったり、ムラが目立つことがあるため、目立たないところで試してから使用しましょう。</p>			
<p>暖房器具などの熱を直接あてないようにしてください。表面の仕上げ材がはがれることがあります。</p>			
<p>シンナーやベンジンなどを使うと、変質・変色の原因になります。</p>			
<p>湿度の高い時期に何日も部屋を閉め切っていると、湿気を吸収したふすま紙にカビが生えることがあります。</p>			
<p>ふすまを開けっ放しにして重なったままにしておくと、反りの原因になったり、前面になっているふすま紙ばかりが日焼けしてしまいます。</p>			

給排水設備

水栓器具などの目で確認できる部分は、使用した時に異常がないか気にかけておきましょう。配管などの目に見えない部分は、水道メーターの数値を定期的に記録することで異常値を察知しましょう

水栓器具の補修は、自分でできる場合と専門業者に依頼した方がよい場合があります。

水栓器具は、構造が複雑なので専門業者に相談しましょう。

材料	特徴	お手入れ	損傷
給水管	給水管は、道路などに埋設される本管から敷地内に引き込まれ、止水栓や水量メーターを介して住戸内に導かれています。これら敷地内の配管、メーターの位置は図面などにより確認しておきましょう。	<p>(1)キッチン、浴室および洗面室などの水まわり周辺で水漏れが発生していないか確認する</p> <p>(2)水まわり部の床下、ならびに排水管の水漏れが発生していないか定期的に点検する</p> <p>(3)水道メーターの確認 水道メーターは水栓を締めてメーターの動きを見ることにより推察できます。右端の赤い針1リットル指針が動いているか、赤いパイロットランプが点灯していたら、どこかで水漏れしています。水漏れを発見した時は、止水栓を閉め、水道局や専門業者に点検を依頼しましょう。</p> <p>また、水道料金が突然増えたら、水漏れしている可能性があります。定期的にメーターを見ておくことは、目に見えない水漏れを知るのに役立つほか、使用水量の把握による家計の節約に役立ちます。</p> <p>・水が赤くあるいは白く濁っている場合 赤い水は、水道工事や断水などで水道管の中を流れる水の速さや方向が変わり、水道管の中の赤さびが流れ出すことにより生じます。しばらく水を出しっぱなしにすると無色透明になります。</p> <p>白い水は、水道管の中に入った空気がかき回され、無数の小さな泡が混入することにより生じます。そのままにしておけば、泡が消え無色透明な水に戻ります(白い水は水質異常ではありません)。</p>	赤水(水質以上)、水漏れ
水栓器具	一般的に普及している水栓器具には、カランを回して開閉する水栓器具と、シングルレバーの上下・左右で吐止水や温度調整のできる混合水栓などがあります。	<p>必要以上に締め付けるとパッキンの摩耗を早めます。</p> <p>蛇口を閉めるとドーンという音が出るのは、ウォーターハンマー現象と言います。蛇口を閉めるなどの水圧の急激な変化で起こります。蛇口はできるだけゆっくり閉めるように心がけましょう。</p> <p>使用後すぐに水分を拭き取ることで、カビやプラスチック部の腐食が防止できます。</p> <p>装飾された蛇口や塗装された蛇口は繊細です。掃除にはアルカリ性や酸性の洗剤は使用せず、中性洗剤と柔らかいスポンジを使用しましょう。</p> <p>屋外の散水栓の内側は、泥はねや土ぼこりで汚れています。定期的に内側にたまった汚れを落としましょう。</p>	水漏れ(蛇口・水栓のハンドル下・パイプの付け根から)、パッキンの摩耗、プラスチック部の腐食、水漏れ
近所での水道工事や断水のお知らせなど、事前に日時がわかっているものは、家族全員が目にする場所にあるカレンダーに書き込むなどの工夫をしましょう。			